

墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会の開催結果について（報告）

令和4年度子ども・子育て会議の答申を受け開催した、「墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会」の結果について、下記のとおり報告する。

1 開催日時

第1回 令和5年10月3日 19時～20時 122会議室

第2回 令和6年2月19日 19時～20時 31会議室

2 議事概要

(1) 第1回

ア 議題

- ・学童クラブ事業及び放課後子ども教室推進事業の現状と課題について

イ 委員意見（要約）

放課後子ども教室について

- ・地域による実施が難しい小学校は、NPO等を活用すべきである。
- ・今、実施できている小学校でも将来的な人材不足を想定し、新たな手法を検討すべきである。

学童クラブについて

- ・民間賃貸物件について、小学校からの距離が近く、かつ二方向避難などの条件を満たす学童に適した優良物件が少ない。
- ・学校改修のタイミングで、学童のスペース確保を考慮して欲しい。

その他

- ・教育委員会では、学校内図書館の活用も検討している。
- ・親の就労に関係ない、どの家庭の子どもも利用できる新たなスキームが、この委員会では出ると良い。

(2) 第2回

ア 議題

- ・放課後子ども教室の事業委託（民間・NPO等の活用）について
- ・学童クラブの開設場所確保について

イ 委員意見（要約）

放課後子ども教室について

- ・令和6年度は、放課後子ども教室の立ち上げ支援の委託をモデル的に1校で実施する予定。立ち上げ後の運営は、地域の方々を中心に行っていく。
- ・最終的には地域で運営していくのであれば、地域の同意を得ることや、保護者の考えを把握することが必要。

学童クラブについて

- ・こども家庭庁・文部科学省通知「放課後児童対策パッケージ」について」を参考に学童クラブの受け皿整備について、検討を進めたい。
- ・他区の学校施設をタイムシェアで利用する事例では、学童クラブ室とタイムシェアする部屋が異なるフロアの場合は、子どもの移動時に学校教育（高学年の授業等）の妨げとならないように対策している。また、机等、学童必要物品の運搬等の苦労も多く、労災や離職に繋がった例もある。
- ・学校施設のタイムシェア実施（学童定員増）には放課後児童支援員の増も必要であり、人員確保も大きな課題となっている。